

## 藤澤、高橋両氏に 安達峰一郎記念賞

国際法研究の優れた業績を顕彰する第56回安達峰一郎記念賞（公益財団法人安達峰一郎記念財団主催）の選考委員会が開かれ、『内政干渉の国際法―法の適用問題への歴史的視座』（岩

波書店）の藤澤敏・千葉大学院社会科学研究所教授と『国際法を編む―国際連盟の法典化事



業と日本』（名古屋大学出版会）の高橋力也・横浜市立大国際教養学

部准教授の受賞が決まった。

安達峰一郎（1869～1934年）は戦前に活躍した外交官。第一次世界大戦後に設立された国際連盟で常任理事国となった日本を代表し、独、オーストリア、露3帝国の崩壊で生まれた欧州新興国の紛争の仲裁などに尽力した。

安達は世界的な国際法学者としても知られ、1930年代、オランダ・ハーグの常設国際司法裁判所（国際司法裁判所の前身）で欧州出身者以外では初めて所長を務めた。贈賞式は11月6日、東京・一ツ橋の如水会館で行われる。